

あれこれ

2014年 第3号

今回編集の都合上 第2回と第3回の月日が逆になりました。ご了承ください。

東北ブロック女性委員会秋田大会

東北ブロック委員会より 委員長 大泉さんの報告です

9月6、7日に秋田県増田町にて公益社団法人 日本建築士会連合会 東北ブロック大会 女性委員会 秋田大会が開催されました。14名が参加し、車に乗合で2～3時間でまんが美術館の駐車場に到着。暑い中、建築士会の方々が出迎えてくださいました。会場では、戸嶋委員長はじめ役員の方々から和装でお出迎えを受け、温かいおもてなしを感じ、私たちの心も温くなりました。会場の増田の漆蔵資料館は、さっそく見ごたえのある伝統的家屋を楽しむことができました。また、シンポジウム会場の「くらを」の内蔵は、歴史そして文化を感じ、女性委員会にふさわしい空間が心地良かったです。基調講演は、埼玉建築士会中野女性委員長の、歴史的建築物と建物再生の新しい取り組みの形、その創意工夫ある活動についてでした。多くの埼玉建築士会の方が同行、参加して下さって委員長を盛り立てていました。それから、秋田県建築士会会長はじめ支部長、多くの建築士会会員の方が参加してくださいました。このことは私たちの活動を知っていただく上でとても意義あることであると思えました。懇親会では、「増田盆おどり」最高！軽妙な地口の乗りのいい音頭と踊りで、青年委員会の方も一緒になって盛り上げていただきとても楽しかったです。エクスカッションでは、内蔵の見学会、白井晟一の作品巡りと、時間を有効に活用しご案内いただきました。とても興味深いところばかりで、是非また今度ゆっくり訪れたいと思いました。天候にも恵まれ、おもてなしといっぱいの感動をいただきました。最後になりましたが、秋田建築士会の皆さまに感謝申し上げます。



第57回建築士会全国大会「ふくしま大会」

酒田市部 女性委員会: 小山恵子

平成26年度伝統的技能者表彰では、全国を代表して山形県の八木両二氏が表彰を受けました。



南会津町にある前沢伝統的建造物群保存地区を見学しました。ここは茅葺きのL字型民家が立ち並ぶ美しい景観の集落です。一棟は博物館として一般に開放されていますが、他は現在も住まわれている為に、敷地内にも立ち入りは出来ません。撮影では電柱や電線が邪魔ですが、生活感が伝わってきます。

栄螺堂は、会津若松市の飯盛山にある不思議な三層構造の建物です。正式には円通三匠堂(えんつうさんそうどう)だそうですが、内部は滑り止めの棧が付いたスロープを、擦れ違いなしに一筆書きの様に上って降りてきます。もう一度ゆっくりと見に行きたい建物です。



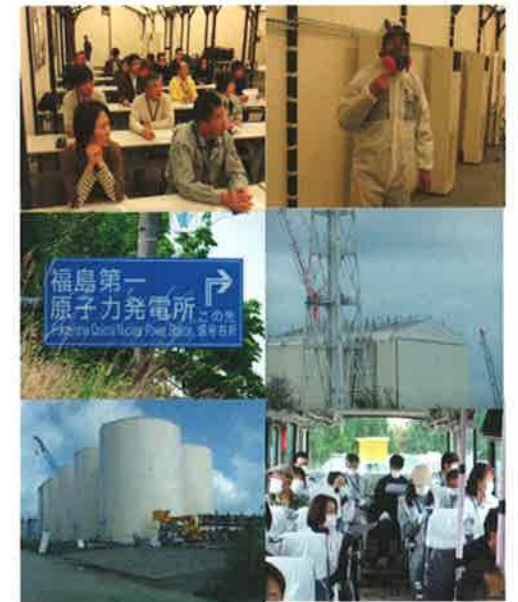
次は57回建築士会全国大会の女性委員会各支部のレポートです。各支部の2回目のエクスカッションはそれぞれの楽しみ方があるとおもしろいですね。毎年参加していると、全国制覇も楽しみです。

天童支部 女性委員会: 小鷹 貴子

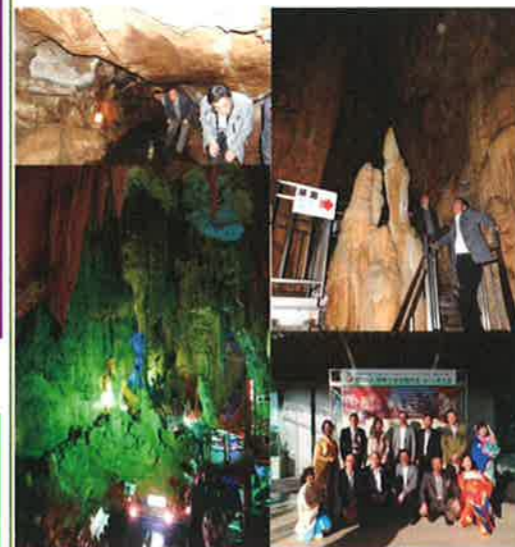
本大会前日、10月23日(木)に行われた交流セッション③「東日本大震災からの双葉郡の復興を考える現地視察」に、天童支部から3名が参加しました。

廃炉作業を進めている福島第一原子力発電所構内の現場視察、除染作業やインフラ整備等を行っている地域の視察を通して、復興に向けて意見交換をしました。

視察はJヴィレッジでの入所手続き、概要説明を受け、また現場作業員が身に着ける白い防塵服(タイベック)やマスク等の体験もしました。その後、福島第一原子力発電所へと向かい、構内を専用のバスで見学しました。※写真は東電撮影



大会当日、会場に向かう途中「あぶくま洞」へ足を運びました。洞窟の中に入り150m程の所に係員の方がいました。「一般コース」と「体験コース」の分岐点で、私たちは迷わず「体験コース」へと進みましたが、狭い鍾乳石の間を、腰をかかめながらくぐったり、丸太のはしごを登ったり、とてもスーツと皮靴で行くような所ではありませんでしたが、洞内最大のホール「滝根御殿」のライトアップされた幻想的な世界に癒され、小学生の時代からのアドベンチャー気分を味わえました。その後、大会式典、交流大会へ参加しました。



大会二日目、福島県迎賓館(旧高松宮翁島別邸)を見学しました。伝統的和風住宅の様式に準拠して建てられた皇族別邸で、建築史的・文化史的にも貴重なものであることから、平成11年5月に国の重要文化財に指定されています。20mもある茅葺の長屋門を潜り玄関へ。扉は秋田杉の一枚板で出来ており、くり抜いて作られた格子に驚かされました。吟味された材料は勿論、松の間、竹の間、梅の間と各部屋毎に洗練された意匠が素晴らしく、滅多に観られない貴重な経験となりました。帰路は紅葉シーズン真っ只中の裏磐梯へ。神秘的に彩りを変える五色沼を散策、檜原湖の美しい景色を眺めながら裏磐梯の紅葉を満喫しました。

美しい景観と自然の恵み豊かな「ふくしま」の現況を知り、地域らしさを失わない再生、復興のあり方、これからの建築にどう生かすのかを考える良い機会となりました。



第57回建築士会全国大会「ふくしま大会」



村山支部 女性委員会:草刈めぐみ

全国大会への参加は、山形大会の前年にPRのため徳島大会に行ったのが初めてです。毎年とはいきませんが参加させていただいています。昨年は島根大会で是非とも出雲大社へ行ってみたくらいと思い参加しました。式典もすばらしいのですがメインは観光かな？その前に、村山支部の数名で夜のコラボパーティに出席したとき偶然福島県の方と支部長をはじめ意気投合し、それがとても楽しいものとなりました。福島大会でもコラボパーティに参加したいと女性委員の皆さんをお誘いし参加しました。東北ブロック会参加で顔見知りになった方と全国大会で再会できると、とてもうれしくなります。そんな出会いも繋がりの、かけがえのないものだと感じます。東北各地、全国各地でいろいろな職種で活躍されている建築士の皆さんに元気をいただき、観光を楽しみ、そして日々の日常も充実したものととなります。

福島の観光は、大内宿の茅葺き郡、会津若松市内七日町と會津藩校です。秋晴れの空のもと一緒に行った仲間と楽しむことができました。



大会会場



西村山支部 女性委員会:大泉みどり

開会式典のアトラクションはグラマーなハワイアン風の踊りに全国の先輩たちのかぶりつきにびっくりです。



大内宿へ行ってきました。見事な茅葺きの屋並みが雲一つ無い青空に映え、紅葉もきれいです。



大内宿ではねぎ一本で蕎麦を食べるねぎ蕎麦が名物とのこと。蕎麦は手打ちで美味しかったけど…ネギはやっぱ辛い(´^`);



まあ並んで食べる支那そばもなかなかオツなものですな～



喜多方ラーメン「ばんない」長蛇の列



1時間待ちでやっと中へ入れましたが…室内でもならび待つこと20分！



鶴ヶ城



帰路は鶴ヶ城を見学して来ました。



米沢支部 女性委員会:照井 さやか

米沢支部からは9名が参加してきました。朝米沢を出発し、郡山市内の名所めぐりながら会場を目指しました。「日本のカッパドキア」と呼ばれる浄土松公園・きのこ岩、平成21年に近代産業遺産に認定された開成館、その後、郡山駅西口のビッグアイにて昼食をとり大会会場へ向かいました。式典のオープニングでは、ハワイアンズのフラガールのダンスショーがあり、絶妙なカメラアングルに米沢支部内では絶賛の声が聞かれました。今回の大会テーマは“建築士の決断「ならぬものはならぬものです」ふくしまで語ろう 建築・絆・再生”でしたが、テーマの通り、福島県の現状や震災からの復興のために我々ができることをもう一度考えさせられる有意義な時間となりました。

郡山市を満喫し、一行は磐梯熱海温泉へ。懇親会では地元食材の料理とおいしいお酒をいただきました。



2日目最初に向かったのは、磐梯熱海温泉からおよそ2時間、羽鳥湖高原の森の中にあるブリティッシュヒルズ。中では英語が飛び交い、海外気分を味わえました。その後、会津若松市七日町通りへ。時代を感じる建物が通りに並び、大正浪漫の雰囲気味わえました。初めての全国大会参加ということで、先輩方にいろいろ教えて頂きながら日程を終えました。最高の天気と、最高の紅葉と、最高のメンバーで内容の濃い2日間でした。

あとがき

今回初めてあれこれを担当しました。今まで女性委員会のみの配布だったのを全員へと変更した最初の年度となりました。印刷、配布、手配等遅れ、皆様にはご迷惑やお手数をお掛けいたしました。米沢支部の照井さんに助けてもらって、3部発行の至りとなりました。委員長の大家さんにも多大に協力して頂きました。また全国大会の原稿依頼に協力して頂いた各支部担当の方にも感謝いたします。本当にありがとうございました。遅れに遅れながらやっと発行できました事にお詫びとお礼を申し上げます。

米沢支部 村山 紀子